

作品賞

Ribbon Chapel

建築主：ツネイシホールディングス株式会社
 設計者：NAP建築設計事務所 中村拓志
 ARUP 柴田育秀、伊藤潤一郎
 施工者：ピーエス三菱 檜垣 清



建物外観（撮影：Koji Fujii/Nacasa & Partners Inc.）

建築概要

建設地：広島県尾道市浦崎町大平木1344-2
 リゾートホテル ベラビスタ境が浜 敷地内
 建築主：ツネイシホールディングス株式会社
 設計：NAP建築設計事務所
 施工：ピーエス三菱
 建築面積：72.2m² 述床面積：72.2m²
 階数：地上1階、高さ：15.26 m
 構造種別：鉄骨造

選評

瀬戸内の美しい島並みを見下ろす小高い山。その中腹の森に寄り添うように、この小さな建物は佇む。

本作の傑出する点は、建物の物語性と構造エンジニアリングの見事な一体感である。この建物の主要な構造体である外周を巡る二つのリボン（螺旋階段）は、新郎と新婦が別々の階段を昇って最頂部で結ばれ、結婚を宣言するというセレモニーが行われる空間であり、また二つのリボンに包まれた内部空間では、立地の魅力を体感できる開放感と、2重螺旋の求心性・上昇感による程よい厳かさが両立されている。

この構造体を、軽やかに成立させるための免震構造（ここでは振り子型免震支承が用いられている）の役割も明快である。また、大スパンとなる部分の床振動対策を、構造体を固めるのではなく、TMDによって解決している点も明快である。

更に構造体の3次元の変位に追従する外装ディテール、3次元的自由曲線形状を2次元円弧に置き換え鉄骨製作を容易にする工夫、鉄骨建方時の変位計画等、こうしたデザインを実現するための必須事項への細やかな配慮も感じられる。

結婚式用のチャペルという現代的空間のあるべき姿を、構造エンジニアリングと一体で実現した点のみならず、免震構造の空間デザイン的可能性を、強く予感させる作品として本作を高く評価したい。（篠崎 淳）

免震化した経緯及び企画設計等

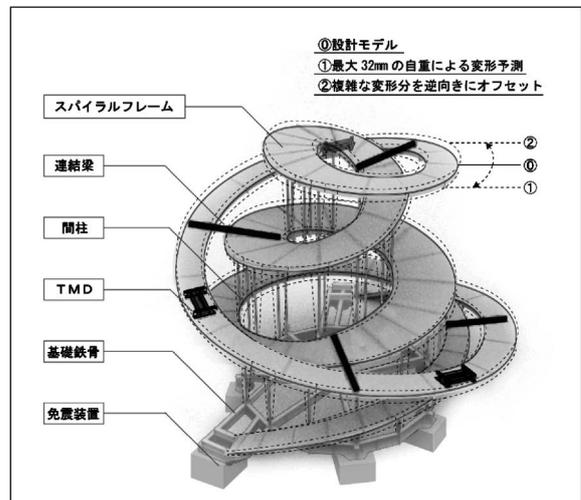
瀬戸内海を見下ろすリゾートホテルの一角に計画された展望機能を有する結婚式用チャペルである。ふたつの螺旋を連結するというアイデアと免震構造の採用によって、螺旋が絡み合い自立する世界に類のない構造の建築を実現し、結婚という行為そのものを空間化することを目指した。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

ふたつの螺旋を連結するというアイデアによって、螺旋特有の変形形状を制御しチューブのような構造を構築した。免震化によって、高い耐震性のみならず、宙に浮いたリボンのような外観と透明性の高い内部空間を創出した。また、ジオメトリックエンジニアリングを駆使することで、自由曲線という極めて難しい形態を合理的に実現した。



内観写真（撮影：Koji Fujii/Nacasa & Partners Inc.）



構造概要図